

**テーマ：「キリストの素晴らしさを知った人生とは？」**

※2 テモテ 4:6-7

「私は今や注ぎの供え物となります。私が世を去る時はすでに来ました。私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。」

**○パウロの命令：模範に習うこと(17節)**

※1 コリント 11:1

「私がキリストを見習っているように、あなたがたも私を見なってください。」

※ローマ 7:15, 24

「私には、自分のしていることがわかりません。私は自分がしたいと思うことをしているのではなく、自分が憎むことを行っているからです。…私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死の、からだから、私を救い出してくれるのでしょうか。」

**○パウロの命令が必要だった二つの理由(18-21節)****I. キリストの十字架の敵として歩む者の存在(18-19節)**

※マタイ 7:13-14, 21

「狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこから入って行く者が多いのです。いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです…わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。」

**●キリストの十字架の敵の四つの特徴**

1. 彼らの最後は\_\_\_\_\_ (19a節)

2. 彼らの神は\_\_\_\_\_ (19b節)

※ローマ 16:18

「そういう人たちは、私たちの主キリストに仕えないで、自分の欲に仕えているのです。彼らは、なめらかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましているのです。」

3. 彼らの栄光は\_\_\_\_\_ (19c 節)

※ガラテヤ 6:14

「しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが決してあってはなりません…。」

4. 彼らの思いは\_\_\_\_\_ (19d 節)

※ヤコブ 4:4

「貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友になりたいと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。」

## II. 天に国籍を持つ者の存在(20-21 節)

○二つの大切な真理

1. 天に国籍を既に持っているという事実は、私たちの目を\_\_\_\_\_。

※マタイ 6:19-21

「自分の宝を地上にたくわえるのはやめなさい。そこでは虫とさびで、きず物になり、また盗人が穴をあけて盗みます。自分の宝は、天にたくわえなさい。そこでは、虫もさびもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。」

2. 天に国籍を既に持っているという事実は、私たちの今に\_\_\_\_\_。

- 主はダビデの子孫として生まれる(イザヤ 9:6-7)
- ベツレヘムに生まれる(ミカ 5:2)
- 処女の元へ生まれる(イザヤ 7:14)
- 痛みを受け、苦しみ、十字架へと架かられる(イザヤ 53:1-12)

※1 ヨハネ 3:2

「愛する者たち。私たちは、今すでに神の子どもです。後の状態はまだ明らかにされていません。しかし、キリストが現れたなら、私たちはキリストに似た者となることがわかっています。なぜならそのとき、私たちはキリストのありのままの姿を見るからです。」

※コロサイ 3:1-2

「こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。」

○まとめ(4:1)